

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

顧客第一主義を中心に、顧客満足度向上により、お客様に支持される企業グループとして持続的な拡大・発展を目指す。

連結営業利益
5,500百万円

連結営業利益
8,000～8,500百万円

連結営業利益
4,000百万円

② 中長期の経営戦略

1. オムニチャネル戦略推進

matsuyaginza.comとの連携強化により、国内外顧客へ高い利便性と感動体験を提供。第1フェーズ（2025～2027年度）に展開。

3. 銀座集中投資

ホームタウン銀座への重点投資により、唯一無二の社会的価値と経済的価値を創造。

2. 事業基盤の強化

店舗・システム・不動産・人材への投資実行により、持続的成長基盤を構築。第1フェーズ同時期に実行。

4. 地域共創事業拡大

日本各地における地域共創事業を通じた事業の輪拡大を推進。

③ 対処すべき課題

① 経済環境の不確実性対応

- ・地政学リスクによる供給不足・価格上昇への対応
- ・消費マインド懸念への経営判断

② グループ各社の経営効率化

- ・アターブル松屋での事業所ごと採算管理精査と選択集中
- ・シービーケーでのクリエイティブ力強化と外部売上拡大

③ 2050年度への長期視点経営

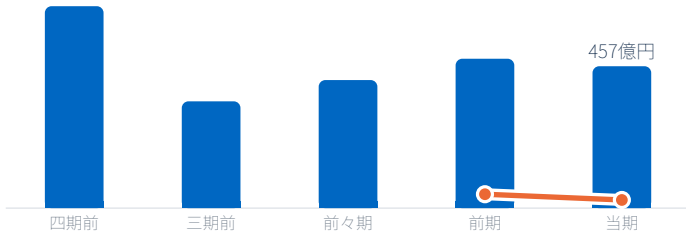
- ・従来の3年中期計画廃止し、2050年度までの長期ビジョン構築
- ・サステナビリティ経営と人的資本経営の推進

面接で使えるポイント

- ・銀座・浅草に密着した都市型百貨店として、matsuyaginza.comとのオムニチャネル戦略で2027年度営業利益5,...
- ・2050年度までの長期ビジョンで経済価値と社会価値の同期化を実現し、唯一無二の社会的価値創造を追求。
- ・顧客第一主義と共存共栄、人間尊重の経営方針で、銀座集中投資・地域共創・グローバルプレゼンス強化の3戦略を並行推進。

証券コード 8237

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
457億円営業利益率
5.8%財務健康度
38点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 55.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
732万円

小売業内 38位/318社

平均年齢
47.5歳

小売業内 50位/318社

平均勤続
21.9年

小売業内 14位/318社

女性管理職
-（未開示）男性育休
100.0%

小売業内 47位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【松屋】太陽が似合う、夏のごちそう「タコライス」発売

